

A TOWN IN THE SUBWAY (Lyric ; Kuma)

太陽はとても眩しいから、地下へと潜ってゆく
人ゴミをかきわけて まるでモグラみたいに
夕暮れに地下から抜け出して、僅かに残る光を浴びる
僕達はいつも 何かに追われて

切れ目なく続く列車は、振出しに戻ってゆく
ストレスがラッシュアワーに、レールを擦り減らす
週末は一人を抜け出して、誰かと繋がっていたい
見張り塔の上じゃ気付かない場所 (ところ) で

BUSY DAYS A TOWN IN THE SUBWAY

夜も昼もない世界を駆けまわる

BUSY DAYS A TOWN IN THE SUBWAY

見えないままのプライドに縛られて

あちこちで地面を打つノイズに 無理に付き合わされていると
乾いた気持ちを潤す香水が欲しくなる
真夜中に部屋から抜け出すと、静まりかえった街があった
それはとても冷たく懐かしかった

BUSY DAYS JUST LIKE THE SUBWAY

夜も昼もなく街を駆けめぐる

BUSY DAYS JUST LIKE THE SUBWAY

見えないままのプライドに縛られて

闇の中で息をひそめてる このストレスがあふれた街で
僕は君だけをまだ待ち続けている 他の誰も気付かない場所で

BUSY DAYS A TOWN IN THE SUBWAY (JUST LIKE THE SUBWAY)